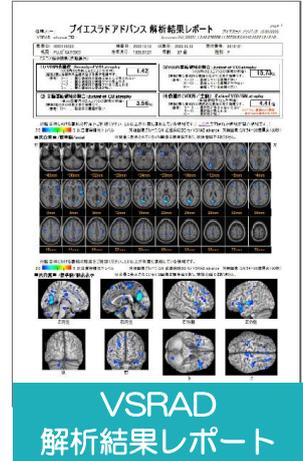
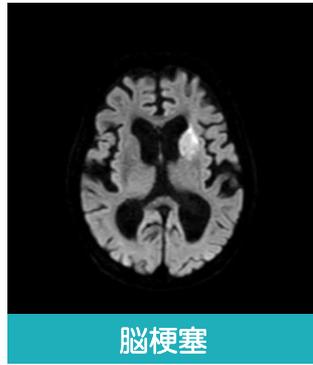
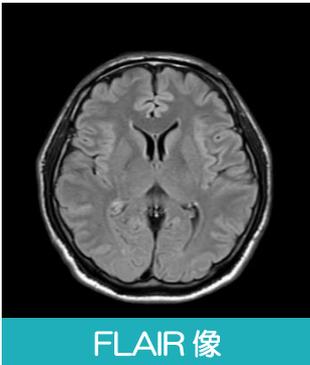


各部位のMRI検査の紹介

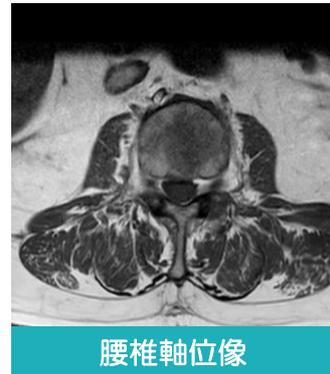
○頭部領域

脳梗塞や脳腫瘍など頭蓋内病変を診断するために行う検査です。造影剤を使用せず脳の血管を画像化することで、脳動脈瘤や脳血管の狭窄や閉塞の診断を行います。また、当院では認知症補助診断に用いられるVSRAD(早期アルツハイマー型認知症支援システム)が対応可能です。



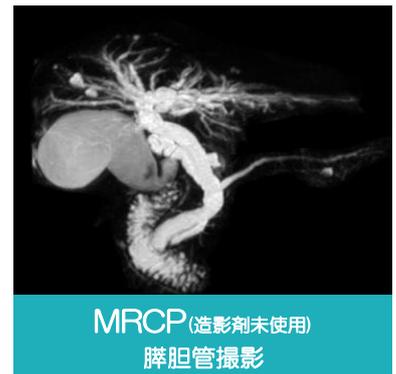
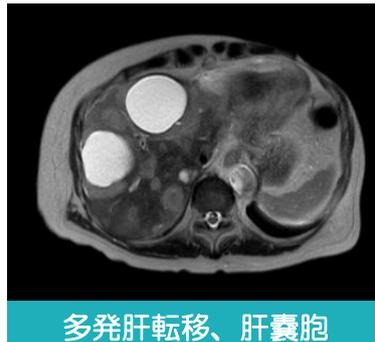
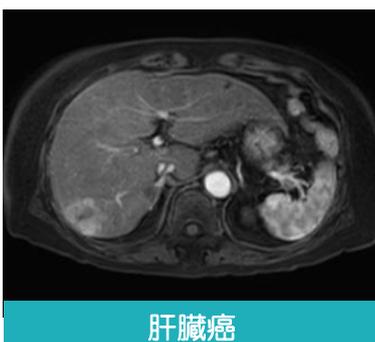
○ 背髄領域

背髄や椎間板などの組織を鮮明に描出することができ、椎間板ヘルニアによる背髄神経の圧迫やその他、背髄変性疾患などの診断に非常に有用な検査です。



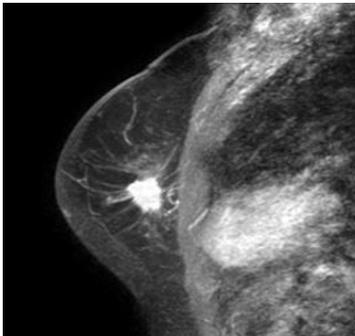
○ 腹部領域

肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、副腎などの病変を診断するために行う検査です。呼吸による動きの影響が大きいいため、息を止めていただく必要があります。息止めの合図は、約 10~20 秒程度です。また、肝臓、胆のう、膵臓の検査において食事制限する場合があります。主治医の指示に従うようにお願いします。

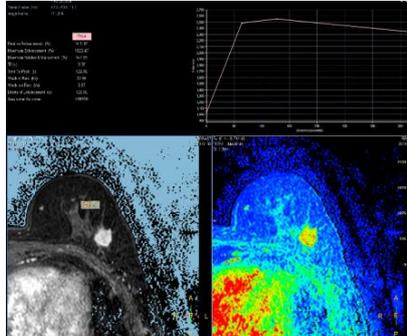


○ 乳房領域

乳房、胸部などの病変を診断するために行うための検査です。特に乳房の検査では、他のモダリティに比べて乳管内癌の検出に優れ、**乳癌の進行度や広がり**を判断するのに**非常に有用な検査**です。昨今、**痛くない乳房検査(乳房の DWIBS 検査)**として検診に用いる施設も増えてきました。当院でも対応しています。お気軽に健診部へお問い合わせください。



乳がん(造影 MRI)



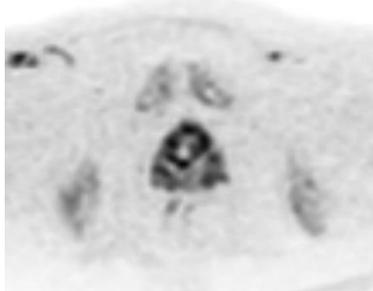
腫瘍の染まり方で悪性かどうかを評価するグラフ(この症例は悪性)



痛くない乳房検査の画像
(乳房 DWIBS : 非造影 MRI)

○ 骨盤領域

膀胱、前立腺、子宮、卵巣などの病変を診断するために行う検査です。骨盤部は呼吸によって臓器が動くため、場合によっては息止めをしていただく場合があります。



前立腺癌



子宮筋腫

○ 四肢領域

肩、膝、手関節などの関節や軟部組織、筋肉、腱、靭帯などの病変を診断するための検査です。MRI では X 線撮影で診断の難しい靭帯や半月板などの組織、軟骨の評価も明瞭に描出することができます。



膝の十字靭帯



手関節骨折



骨腫瘍

OMRA(MRIの血管撮影)

造影剤を用いずに頭頸部、体幹部、下肢の血管を撮影する検査です。動脈瘤や血管の狭窄を評価するために行います。この検査は、腎機能が悪いため造影剤を使用することが出来ない方でも撮影が可能です。部位にもよりますが、所要時間は10分～20分程度です。



頸動脈 MRA



鎖骨下動脈の MRA(シネ撮影の一枚)



両下肢動脈 MRA